

取組事例

（所定外労働削減・年休取得促進・多様な正社員・朝型の働き方・テレワーク）



企業名：宗盛電気サービス株式会社	所在地：広島県広島市南区
社員数：33名	業種：サービス業 （電気技術サービス・電気工事）

取組の目的：

特定の技術を要する業務担当社員が長時間労働の傾向にあり、健康確保や公平性の観点から業務分散（平準化）を行うことの必要性を感じていた。そのために、個々人の技術レベルの向上が必要との労使共通認識のもとで取組を行った。

取組の概要：

〈現在の取組〉

○社員の技術の見える化

社員の技術・能力を一覧表（「技術保有マップ」）にし、会社全体の技術・能力を客観的に把握できるようにした。

○技術レベル底上げの教育訓練

社内で不足している資格や技能伝承したい技術を研修テーマとして、社内講師による研修を年3回実施。また、社外の研修へ参加しやすい環境（参加者募集、勤務の免除）を整備した。

○作業の見える化を行い業務の偏りや手待ち時間を削減

1～2ヵ月単位の作業予定表（個人別）を作成し、管理職が業務調整時に閲覧できるようにした。

〈今後の取組〉

○代替要員の育成に時間と費用がかかる特定業務の担当者（特定設備に関わる技術者）の業務負担軽減が思うように進んでおらず、その取組方法を検討する。

現状とこれまでの取組の効果：

- 「技術保有マップ」により、事業場全体の技術・能力の状況を把握できるようになったり、計画的教育訓練と全社的な応援体制の構築が可能となった。
- 個人別の作業の見える化を各部署で行い、事業場全体で業務の偏りや手待ち時間の削減ができるようになった。
- 上記の取組により、5年前に比べ年間平均所定外労働時間数、年次有給休暇取得率に以下の効果が表れた。
年間平均所定外労働時間数・・・41%減少（190時間 → 112時間）
年次有給休暇取得率・・・・・・・・17ポイント上昇（72% → 89%）